

# 豊庄だより



第 682 号 2021 年 10 月 18 日

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達

「駐車場はありますか？」

最近、保育園の見学希望の電話がよくかかってきます。2022 年 4 月 1 日利用開始の申し込み締め切りが 12 月 1 日、入園には見学が必須のため、問い合わせと申し込みの電話です。「園長が直接お目にかかり、お一人ずつ対応しています」と答え、日程調整をしています。10 月に入って急に増えました。初めに書いた駐車場の件は、電話をかけてきた人の 4 分の 1 くらいの方が聞かれる項目です。駐車場はないこと、近くのコインパーキングを使っていたきたいこと、(余計なことですが)園の前の道路に停められてもいいですが、高い駐車料金(罰金)を払わなければならないことなどを答えています。ほとんどの人が「わかりました」と言われますが、その時は違いました。「駐車場がないのなら見学、止めます」でした。びっくりしました。駐車場の有無が保育園を決める最重要要件とは・・・。

私は、必須となっている保育園見学は、こういう制度(希望園を 5 つ書くことができ、必ず見学をしなければならないということ)になる前から、お一人お一人と話をしていくことにしてきました。確かに「見学会」を日にちを決めてすれば効率的かもしれませんが、しかし、見学を希望される方にはお一人お一人それぞれの事情があります。初対面ですから話せない方もいるかもしれません。でも、一人でも求める人がいるのであれば、そうすべきだと思います。「見学会をして終了」は乱暴なやり方です。

「駐車場はありますか？」と言われた人が、やはり見学はしたいと思い直し、来園されたとすれば、きっといろんな話ができただけかもしれません。

見学時間は約 30 分です。見学者の一番の関心事は、「空きがあるか、そして、入れる可能性はあるか」でしょう。年齢別定員数が書いてある「重要事項説明書」と、福岡市が作っている「福岡市保育施設等利用調整基準表(俗に「ポイント表」と言われているもので、就労の形態によって 50~200 までのポイントが書かれています。見学される方ですでに知っている人から初めて見る人まで様々です)を参考にして話を進めますが、私が一番話したいのは、豊庄保育園がどんな保育を目指しているかということです。

そこで取り出すのが、全国保育協議会という保育団体が発行している「ぜんほきょう」という機関誌です。その中に、「保育ネットワーク」という全国の保育園を紹介するページがあり、数年前になります。記者の人が来園され、豊庄保育園のことを記事にされました。保育について私といろいろと討論をしたのですが、その時私が話したことを実に上手にまとめられました。テーマは「保護者と一緒に子どもの育ちを見守る」です。保護者参観、我が家の子育て奮闘記を語る会、誕生会と懇談会など、取り組んでいることが書かれていて、これをもとに話しています。これだけでも 10 分近く時間を使うこともあります。見学者の中には、「ホームページで園だよりを読みました」という方もいらっしゃいます。そういう方には、思わず話し方に熱が入ってしまい、次の見学者が見えて、時間を超過してしまうこともしばしばあります。

私は、形式的な「見学」にはしたくありません。見学者を前に保育について語ることは、「保育園で大事なことは何か」を確認することにもなっています。「駐車場」を大事にされる方は、大きな駐車場のある保育園に行っていただけだと思います。



久しぶりに園庭に遊具が戻ってきました。(10月6日)